

暮らしの中の問題

土田 浩敬

1、はじめに

今回の特集では「生活の中で問題と感ずること」です。問題といっても、人それぞれ様々あるでしょう。住環境、アクセス、食事、介助者…。色々あると思うのですが、問題とは何なのか、暮らしの中で感ずることについて、当事者の目線で考えて行きたいと思ひます。

2、問題って何？ ～その1～

障害者ならでは生じる問題。

「住環境問題」「アクセス問題」車を運転出来ないぶん、移動する時に不便に感ずることは多々あります。“ちょっと買い物へ行く”“銀行へお金を下ろしに行く”“通院するため駅へ行く”全てにおいて自走で行くわけですが、なにぶんそれぞれが微妙に遠いのです。そしてよく利用する最寄り駅と、スーパーが自宅から遠い…自走で20分掛かるのですが、真夏や真冬の移動は頸髄損傷者にとっては命取りです。1日を通して外出する中で、家から駅までが、最も離れている場合があります。今のところ、解決策はないです。



ですが去年、電動車椅子を新しく製作してからは、パワーもあり安定感もあるので、以前使用していた電動車椅子よりは、体への負担は軽減しました。以前のように、しんどい思いをせずに済むように

なり、気分的にも楽になりました。

話しを戻しますが、これは引越す前の家探しの段階で、気をつけなければいけませんね。

アクセスも自宅前からのバスは、午前中1時間に一本しかなく、午後からは、自宅前の路線は運行していません。不便ですが、悪天候の時は利用しています。近所の方々は、ほとんど車を利用されているので、バスの利用者数が少ないのが現状です。バスの本数を増やすことはなかなか難しそうです。外へ出ると、様々な問題に直面します。公共交通機関の乗車拒否、飲食店の入店拒否。

その時は、“これはおかしい”と思わなかったのですが、後から考えてみると、腹の立つこともありました。昼食を食べようとして入ったお店で“今から客足が増えるから入らないでくれ”と店員に言われました…“電動車椅子は、大きくて場所をとるし邪魔だよな…”と私は心の中でつぶやき、その時は退散しました。しかし帰路の途中“いやいや僕も客じゃないか、おかしいじゃないか”と思ひました。しらずしらずに差別を受けているのですね。

色々経験して来たのですが、いい人にも沢山出会ってきました。バスの運転手も、乗車しやすいようにバスを縁石に近づけてくれて、乗車してからも“何かあったら言って下さい！ゆっくり運転しますんで”と声をかけてくれます。こんな運転手が増えて欲しいです。また狭い店にも、電動車椅子が入りやすいように、品物をどけてくれて、なんとか入ってもらおうとして下さる店員もいました。

このように、優しく対応していただくと、また利用したいなど、思ひ瞬間です。

3、問題って何？ ～その2～

介助者とのコミュニケーション問題も、当事者のみなさん、感ずることが多いと思ひます。なにぶん両手が使えないので、言葉だけで全て説明するのですが、これが難しいのです。また介助者も

それぞれ違うので、解釈の仕方が違います。それほど難しくないことでも、お互いの意思が通じないときは、混乱してしまいますね。

よくあるのは、左右とか前後ろ、上下を伝えるときに、お互いが向かい合っている場合が多く、反対に解釈されることがよくあります。

あと、料理を作るときも難しいです。普段料理を作らない人に伝える時は大変ですね。指示も上手く出せず、てんやわんやです(苦笑)それでも、料理が出来上がると、この上ない達成感があります。介助者に分かりやすい介助方法を考えていかないと、両者共に疲れてしまいます。あまり“こだわりすぎない”こともポイントかなと思います。私の介助でも、コミュニケーション問題はよくありますし、全て解決したというわけではありません。でも、最近介助を受けていて“楽になったな”と感じます。

自分も変わらないと、相手も変わらないということ。介助者に対して誠意を持って接すること。それは、年下年上関係なく、全ての介助者に対していえることです。人間には感情があります。それが人間らしいところで、いいところだと思います。ただその感情が、時に邪魔をするときもあるのです。“土田さんの介助をやりたい”“土田さんに楽しく過ごしてもらいたい”そう思ってもらえるように、私も成長していきたいです。



楽しみながら、介助出来る環境作りをしていきたいですね。お互いにとって、マナーや礼儀は人間関係をスムーズにさせる「潤滑剤」ではないでしょうか。お互いを尊重しながら、楽しくやっていきたいです。

現在の生活で感じる問題、みなさんも、色々あ

ると思います。私の生活で言えば、食事の問題かなと思います。一人暮らしを始めるまえは、体重が58キロでした。それから、5年が経ち、一番重たかった時で、70キロまで体重が増えました。現在はダイエットの成果もあって、64キロです。実家にいた時は、母が食事を通して、体調管理をしっかり行っていたのですね。ありがたいです。外食が増えて、偏った食事が原因でしょう。食事の量も増えました。今は、外出の際出来るだけ、お弁当を作って持って行きます。



作るのに手間はかかりますが、そのぶんバランスよく、決まった量を摂るので、食べ過ぎも無くなり、節約にもなっています。買い物に行く時は、お弁当のおかずをどうするか、何を入れようか考えるようになりました。一人暮らしを始めた当初“主婦みたい”と思っていましたが、最近では以前に増して、主婦度に磨きがかかってきたように思います(笑)

4、さいごに

これらは、全ては「自立」に繋がることかなと思います。

重度障害者が一人暮らしをする。これらの生じる問題を、一つずつ解決して行くことは、完全自立に近づいていくことに繋がり、重度障害者自身が精神的に成長するのだと思います。現在の生活で感じる問題について、車椅子について、バリアフリーについて、旅行について、全ては自立に繋がるのでしょうか。重度の障害があるが故に、様々な問題があります。健常者にも言えることですが、自立は難しいということが、日々生活していて身にしみて感じます。